

令和7年度自己点検・自己評価表

陽光台保育園

評価実施日: 令和8年3月31日

評価については、A:達成できた B:ほぼ達成できた C:一部改善を要する D:改善を要するの4段階で評価する。

評価項目	評価	
(1)園の組織と運営に関すること		
職員の共通理解のもと、自園の保育課題を明確にし、子ども・保護者・地域の実態や実情に応じた適切な保育目標となっているか。	A	年度当初に、全職員の会議を設け、川島福祉会の基本理念、当園の保育方針、保育内容について、確認の場を設けるとともに、随時園内研修で協議をしている。
明確な目標をもって職員会議が運営され、教職員の共通理解のもと、機能的に組織・運営がなされているか。	B	毎月1回の職員会議を通じ、保育内容・行事等の協議、確認を行っている。
事故等緊急事態に対する安全対策及び、対応マニュアルの整備がなされているか。	A	マニュアルの整備がなされ、かつ随時見直しをしている。
保育目標や方法等を共通理解し、組織的な園内研究の推進に努めているか。	B	主任が中心になって、目標達成のためや現場の課題解消に向けたの保育の在り方について、園内研修を計画し、行っている。
随時見直しをしている。		
各年齢ごとの重点目標を明確にし、具現化した保育課程の編成・実施がなされているか。	B	年齢ごとの保育課程の編成・実施に努めている。
現代の保育課程を見通した道徳性の芽生えを培う保育や、幼児期にふさわしい知的発達等を促す教育が推進されているか。	A	保育指針に基づき適切な保育ができるよう努めている。
子どもの実態や育ちをとらえ、ねらいや内容を設定し、計画的に実践しているか。	A	月案、週案にそって実践している。
子ども一人一人を尊重し、保育のねらいをもって関わっているか。	B	子ども一人一人の目標と課題を明確にし、援助の在り方について園長、主任が指導をおこなったり園内研修で話し合うようにしている。
子どもにとって主体的な生活態度や創造的な思考を促すような、魅力ある環境構成がなされているか。	A	年齢、発達に応じた環境を考え、主体的な生活態度や創造的な思考を促すように努めている。
(3)健康管理・食事に関すること		
登園時や保育中の子どもの健康管理は、子ども一人一人の健康状態に応じて実施しているか。	A	登園時に保護者からの口頭や連絡ノートでの体調報告をもとに、朝の指針を大切に行う。保育中も一人一人の様子に留意をし、気になる場合は保護者と適宜連絡を取り合っている。
健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させているか。	B	診断結果の伝達は必ず行い、場合によっては受診を勧めている。
感染症の対応については、発生の状況を必要に応じて保護者、全職員に連絡しているか。	A	発生時には、まず全職員に伝達をし、保護者には掲示板や口頭を通じて連絡している
アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか。	A	専門医の診断の上、マニュアルに準じて適切な対応を行っている。
子どもが食事を楽しむことが出来るように工夫をしているか。	B	望ましい食事の在り方を考え、市からの献立を随時変更したり、手作りおやつ回数を増やしている。

(4) 保育環境に関すること		
保育室・遊戯室・園庭等は保育士の創意を生かした環境整備が行われているか。	A	子どもが心地よく過ごせる環境を心がけ、危険防止にも注意をはらっている。
子どもがイメージを広げたり刺激されたりする素材や遊具等の環境が工夫され、活用出来ているか。	B	遊具の工夫や、廃材を利用して子どもたちが創意工夫できる環境に努めている。
職員が協力して園庭・園舎の整備・管理に当たり、定期的に点検を行っているか。	A	年2回の防災設備点検、毎日の保育所内外の安全点検、年一回の業者による遊具点検を行う。
地域の自然環境や公共施設等を把握し、有効に活用しているか。	B	散歩や園外保育等を随時取り入れているが、自然の多い場所はマムシが生息し難しいところもある。
長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか。	A	職員の引き継ぎ時に子どもの状況をきちんと伝えるようにし、また、家庭的な保育を心がけている。
障害児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか。	B	障害児童に対する支援の仕方について、園全体で情報を共有するようにしている。
(5) 子育て支援に関すること		
一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。	A	送迎時の日常的な情報交換に加え、必要に応じて、個別に相談に応じている。
家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されているか。	B	個別月案や経過記録に記録している。
(6) 家庭や地域との連携に関すること		
小学校と定期的に交流したり保育内容や児童・幼児等の理解を行ったりしているか。	A	小学校に招いてもらい、体験授業を経験する。各小学校職員と面談にて引継ぎをしている。
保護者や外部評価等の意見を取り入れ、保育活動に生かしているか。	B	アンケートを実施し、保護者の意見は取り入れている。今後外部評価も検討していきたい。
保育を公開したり地域の行事に参加したりして保護者や地域住民の理解や協力を得て、開かれた保育園づくりを行っているか。	B	定期的にあそぼう会を行い、地域の未就学児と保護者の方が来園している。
(7) 安全確保への取り組みに関すること		
あらゆる場面を想定しての危機管理体制の共通理解が図られているか。	A	毎月の避難訓練を実施し、反省点を次の取り組みに生かすように努め、共通理解を図っている。
外部からの侵入に対する対応策がとられているか。	A	南警察から、警察官にきてもらい、ビデオ上映や不審者対応の訓練を行っている。
子どもに見知らぬ人や挙動不審な人に出会った際の対応について指導されているか。	B	不審者の対応について話したり、実際に避難訓練を行っている。